

**「医療計画の見直し等に関する検討会」  
ワーキンググループ報告書（案）**

平成16年9月24日

「医療計画の見直し等に関する検討会」  
ワーキンググループ委員名簿

	(氏 名)	(役 職)
○	尾 形 裕 也 <small>お がた ひろ や</small>	九州大学大学院医療経営・管理学教授
	柏 樹 悦 郎 <small>かしわ ぎ えつ ろう</small>	元富山県砺波厚生センター小矢部支所長 (平成15年9月30日~平成16年3月31日)
	河 口 洋 行 <small>かわ ぐち ひろ ゆき</small>	国際医療福祉大学大学院助教授
	河 原 和 夫 <small>かわ はら かず お</small>	東京医科歯科大学大学院政策科学分野教授
	長谷川 敏 彦 <small>はせがわ とし ひこ</small>	国立保健医療科学院政策科学部長
	長谷川 友 紀 <small>はせがわ とも のり</small>	東邦大学医学部助教授
	松 田 晋 哉 <small>まつ だ しん や</small>	産業医科大学医学部教授

平成16年4月1日現在

注1 ○は座長

注2 五十音順、敬称略

目 次	頁
<b>I 現行の医療計画制度について</b>	
1. 医療計画制度の背景と目的	
(1) 医療法の改正経緯からみた医療計画制度の変遷	3
(2) 医療計画制度の目的	4
2. 医療計画制度の評価	
(1) 医療計画制度の影響に関する評価	4
(2) 医療計画の作成とこれに基づく都道府県の執行に関する評価	5
(3) 国際比較による評価	5
3. 医療計画制度を取り巻く環境の変化	
(1) 政府の役割に関する歴史的動向	7
(2) 医療制度改革に関する国際・国内的動向	7
(3) 医療に関する規制改革と医療計画	9
(4) 超高齢社会と医療需要	10
(5) 患者の望む医療像	10
<b>II 今後の医療計画制度のあり方について</b>	
1. 医療計画制度のあるべき姿	11
2. 医療計画に盛り込まれるべき内容	
(1) 目的	11
(2) 圏域	11
(3) 基準病床数	13
(4) 記載事項	15
3. 作成手続き	
(1) 医療計画を有効に機能させるための情報収集等	16
(2) 関係者等の意見調整（関連する他の計画との調整）	16
(3) 住民参加を求める仕組み	16
4. 医療計画に基づいた都道府県の執行管理と推進の方策	
(1) 医療計画に基づいた都道府県の執行管理の方策	17
(2) 医療計画に基づいた都道府県の推進の方策	17
5. 医療計画に関する評価とその結果の都道府県行政への反映	
(1) 評価の重要性と評価方法	18
(2) 目的の明確化	18
(3) 住民の視点に立った評価方法（ライフコースアプローチ）の 提案	19

### Ⅲ 当面取り組むべき課題

1. 基準病床数その他病床関係	
(1) 基準病床数の算定式	2 3
(2) 病床の特例	2 4
(3) 既存病床数の補正	2 5
2. 記載事項関係	
(1) 記載事項として追加することが期待される事項	2 7
(2) 医療計画の評価の導入	2 9
(3) 医療機能調査の活用	2 9
(4) 医療情報の整理と活用	3 0